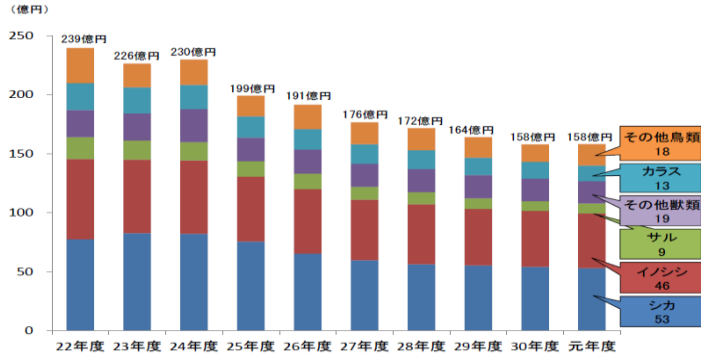


池田市における野生動物の生態調査と食害調査

＜農作物被害額の推移＞



1、本研究における食害

動物の摂食行為により、人間に何らかの被害を与えること。農業や林業における害虫の被害は対照としない。

2、研究と調査

①校内における忌避剤調査と対策

防鳥ネットによるものが多いが、ヒヨドリやムクドリ、スズメ等が引っ掛かり死んでしまう。そこで、忌避剤と様々な糸で有効な対策を検討。



②校内と五月山における野生動物の生態調査

赤外線カメラの設置と野生動物の痕跡を探すことにより調査をする。



③研究結果と今後の課題

食害対策において、全ての種類の糸で効果があった。また、忌避剤でも効果が確認できたが、全ての対策を混合して調査を行ったので、もう少し対照区画を細分化し、調査する必要がある。

これまでに発見できた野生動物、校内では、アライグマ、イタチ、キツネ、タヌキ、ハクビシン、五月山では、アライグマ、イタチ、イノシシ、キツネ、タヌキ、シカ、ノウサギであった。今後、調査範囲を広げ、野生動物の生息範囲の確認や確認できなかった種類を増やしていく。